

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		SH10C1RN	SH11C1RN	SH12A	SH12C1RN
		適用号機又はスペック番号		STD	STD	STD	STD
		最大作業床高さ (m)		9.9	11	12.0	12.1
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値		
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	0.6	0.6	0.5～0.9
			左右	mm	0.6	0.6	0.5～0.9
		2nd 先端ローラ部がた	左右	mm	—	—	—
			摩耗量	mm	2.0	2.0	2.0
	バケット	積載		kg	200	200	200
	油圧ポンプ	吐出圧		MPa (kg/cm ²)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)
		※ポンプ回転数		min ⁻¹	750 ⁺⁵⁰ ₀	750 ⁺⁵⁰ ₀	800 ⁺⁵⁰ ₀
		作動油		—	VG22	VG22	VG22
		油温		℃	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量 ※1	起伏	mm	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下
			伸縮	mm	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下
			ジャッキ	mm	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下
			アーム起伏	mm	—	—	—
			ウインチ起伏	mm	—	—	—
安全装置	アースリール線	抵抗値		Ω	—	—	—
	作業範囲規制装置	作業範囲規制 ※9		—	○	—	—
		モーメントリミッタ ※9		—	—	—	—
	インターロック	ジャッキインターロック		—	○	○	○
		ブームインターロック		—	○	○	○
作業機用エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	低	min ⁻¹	1300	1300	—
			中	min ⁻¹	—	—	—
			高	min ⁻¹	1650	1650	—
		弁すき間	吸気弁	mm	0.25	0.25	—
			排気弁	mm	0.25	0.25	—
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	2.7 28	2.7 28	— —
		燃料噴射圧力		Mpa (kgf/cm ²)	14.2 145	14.2 145	— —
		※回転速度		min ⁻¹	280	280	—
	冷却装置	ファン駆動ベルト張り		mm	10	10	—
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 10.0	98 10.0	— —

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式

SH15C1FS	SN15B	SN15C1FS						
STD	STD	STD						
14.6	14.6	14.6						
検査基準値								
0.6	1.0	1.0						
0.6	2.0	2.0						
—	0.0	0.0						
2.0	2.0	2.0						
250	250	250						
17.6 (180)	17.6 (180)	17.6 (180)						
995 ⁺⁵⁰ ₀	900 ⁺⁵⁰ ₀	900 ⁺⁵⁰ ₀						
VG15	VG15	VG15						
40±10	40±10	40±10						
2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下						
2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下						
1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下						
—	—	—						
2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下						
1Ω以下	1Ω以下	1Ω以下						
—	—	—						
○	○	○						
○	○	○						
○	○	○						
—	—	—						
1350 ⁺⁵⁰ ₀	1350 ⁺⁵⁰ ₀	1350 ⁺⁵⁰ ₀						
1500 ⁺⁵⁰ ₀	1500 ⁺⁵⁰ ₀	1500 ⁺⁵⁰ ₀						
1650 ⁺⁵⁰ ₀	1650 ⁺⁵⁰ ₀	1650 ⁺⁵⁰ ₀						
0.25	0.25	0.25						
0.25	0.25	0.25						
2.9	2.9	2.9						
(30)	(30)	(30)						
14.2-15.0	14.2-15.0	14.2-15.0						
145～153	145～153	145～153						
290	290	290						
10～12	10～12	10～12						
98 (10)	98 (10)	98 (10)						

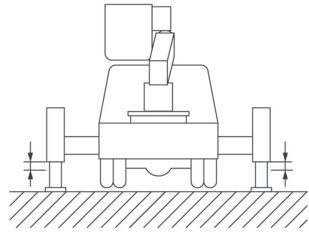
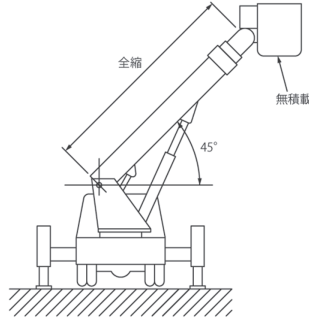
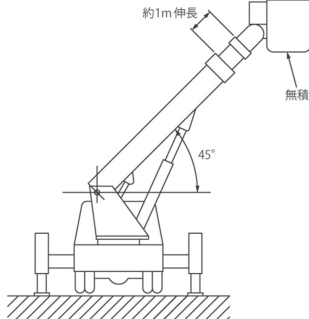
アイチコーボレーション

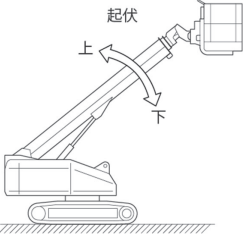
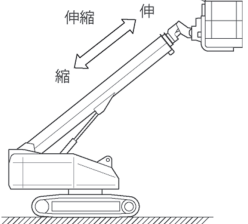
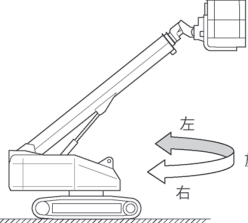
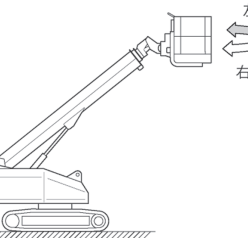
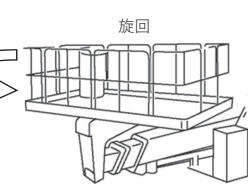
適 用 範 囲		モ デ ル 名		SH10C1RN	SH11C1RN	SH12A	SH12C1RN
		適用号機又はスペック番号		STD	STD	STD	STD
		最大作業床高さ（m）		9.9	11	12.0	12.1
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法	単位	検 査 基 準 値			
総合 テ ス ト	作動速度	起伏 ※2－1	上	s	—	—	30±5
			下	s	—	—	30±5
		起伏 ※2－6	上	s	21±4	21±4	— 26 ⁺⁴ _{−5}
			下	s	21±4	21±4	— 26 ⁺⁴ _{−5}
		旋回 ※2－2	右	s	50±10	50±10	60±10
			左	s	50±10	50±10	60±10
		伸縮 ※2－3	伸	s	18±5	18±5	25±3
			縮	s	18±5	18±5	20±3
		アーム旋回	右	s	—	—	—
			左	s	—	—	—
		バケット首振 ※2－4	右	s	18±5	18±5	20±5
			左	s	18±5	18±5	20±5
		バケット昇降速度	上	s	—	—	—
			下	s	—	—	—
		ウインチ起伏速度	起	s	—	—	—
			伏	s	—	—	—
		ウインチ旋回速度	右	s	—	—	—
			左	s	—	—	—

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法はモデルやウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式

SH15C1FS	SN15B	SN15C1FS						
STD	STD	STD						
14.6	14.6	14.6						
検 査 基 準 値								
35±5	35±5	35±5						
35±5	35±5	35±5						
—	—	—						
—	—	—						
50±10	50±10	50±10						
50±10	50±10	50±10						
33±5	33±5	33±5						
25±5	25±5	25±5						
—	20±5	20±5						
—	20±5	20±5						
10±5	13±5	13±5						
10±5	13±5	13±5						
6±3	6 ⁺³ _{−2}	6 ⁺³ _{−2}						
6±3	6 ⁺³ _{−2}	6 ⁺³ _{−2}						
6±3	6 ⁺³ _{−2}	6 ⁺³ _{−2}						
8±3	8 ⁺³ _{−2}	8 ⁺³ _{−2}						
7±4	14 ⁺³ _{−4}	14 ⁺³ _{−4}						
7±4	14 ⁺³ _{−4}	14 ⁺³ _{−4}						

※1. シリンダー自然降下量 1) ジャッキシリンダー 【測定要領】 (1) 車体を水平堅度土上にセットする。 (2) エンジン停止させる (3) ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く (4) ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする (5) 1分後、0点を合わせる (6) 10分経過させる (7) 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左) 【判定基準】 ジャッキポストのストロークにて 1mm 以内／10 分	
2) 起伏シリンダー 【測定要領】 (1) ブームを起伏各 45° にセットする (2) エンジン停止させる (3) 起伏シリンダーのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする (4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる (5) 10 分経過させる (6) 自然降下量を測定する 【判定基準】 ピストンロッドのストロークにて 2mm 以内／10 分	
3) 伸縮シリンダー 【測定要領】 (1) ブームを起伏各 45° にセットする (2) ブーム長さを 1m にセットする (3) エンジン停止させる (4) 第 2 ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする (4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる (5) 10 分経過させる (6) 自然降下量を測定する 【判定基準】 第 2 ブームのストロークにて 2mm 以内／10 分	

※2. 速度測定方法 【測定要領】 (1) 車体を水平堅度土上にセットする。 (2) 作業車の作業範囲に障害物が無いことを確認する (3) 油温は 40±10℃で行なう 1) ブーム起伏速度 (1) ブーム全縮状態で、起伏下操作により「下」エンド下げる (2) 起伏上操作にて「上」エンドまでの時間を測定する	
2) ブーム伸縮速度 (1) ブームを全縮状態で起伏上操作により「上」エンドまで上げる (2) 伸操作により「伸」エンドまでの時間を測定する (3) 縮操作により「縮」エンドまでの時間を測定する	
3) ブーム旋回速度 (1) ブームを全縮、起エンドの状態にする (2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する (3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	
4) 首振り速度 (1) 首振操作にて右エンド～左エンドまでの作動時間を測定する (2) 首振り右操作、左操作共に行なう	
5) プラットフォーム旋回速度 (1) ブームを全縮、起エンドの状態にする (2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する (3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	

6) ブーム起伏速度 (1) ブーム全縮状態・首振り格納、起伏MAX位置から起伏下操作により「下」→起伏水平停止 ($0 \pm 1^\circ$) 位置までの時間を測定する。 (2) 起伏水平位置より、起伏上操作にて「上」→起伏MAX位置までの時間を測定する	
※3. 走行速度測定方法 [測定要領] 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する 3) 車両が最大速度になるまで助走させる 4) 速度が安定した走行区間の速度を測定する ※ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を行う	
※4. 走行直進性測定方法 [測定要領] 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する 3) 車両が最大速度になるまで助走させる 4) 最高速度で約10m走行させ曲がった距離を測定する	

※5. 履帯たわみ測定方法 [測定要領] (1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする (2) 第1ブーム先端部に支柱セットする (3) ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から30mm~50mm浮かせたわみ量の測定をする 1) SR10CSM、SR12CSM 2) SR19CSM/21CSM/21CJM	
※6. 小型履帯たわみ測定方法 [測定要領] 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にフレームを上げた(60mm以上)状態保ちクローラ▲合マークを本気中央下側に合わせ測定	
※7. 走行駆動用チェーンたわみ測定方法 1) スプロケット上側チェーンを張るように、前進及び後進して停止 2) 下側チェーンスプロケット間の中央位置を $9 \pm 1 \text{ kgf}$ にて押し引きし、S-S' 間寸法を測定してください。	チェーン張り基準

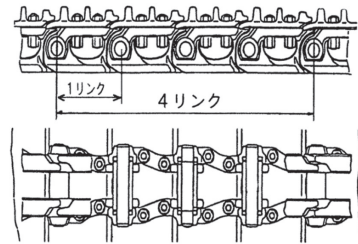
アイチコーポレーション

※8. 鉄製履帯リンクピッチ測定方法

[測定要領]

- 1) マスタピンから1～2リンク離れた4リンク分を測定する

注: シューリンクを張った状態で測定すること。



※9. 作業半径測定方法

[検査機器]

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重垂
4. 水系

※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります

[測定例 L-MAX]

※測定はL-MAX（ブーム全伸長）の他にL-MIN（起伏角水平）があります。

詳細はサービスマニュアルを参照してください

- 1) 車両を水平堅土上にセットする
- 2) ジャッキにより全タイヤを地切りさせる
- 3) 車体は前後左右水平にセットする
(張り幅によって測定値、測定方法が異なります)
- 4) バケットにウエイトを積載する
(機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと)
- 5) ブームの操作は下操作で行なう
- 6) ブーム操作は低速にて行なう
- 7) ブームが自動停止した作業半径を測定する
- 8) 規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行わないこと
- 9) 測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと

